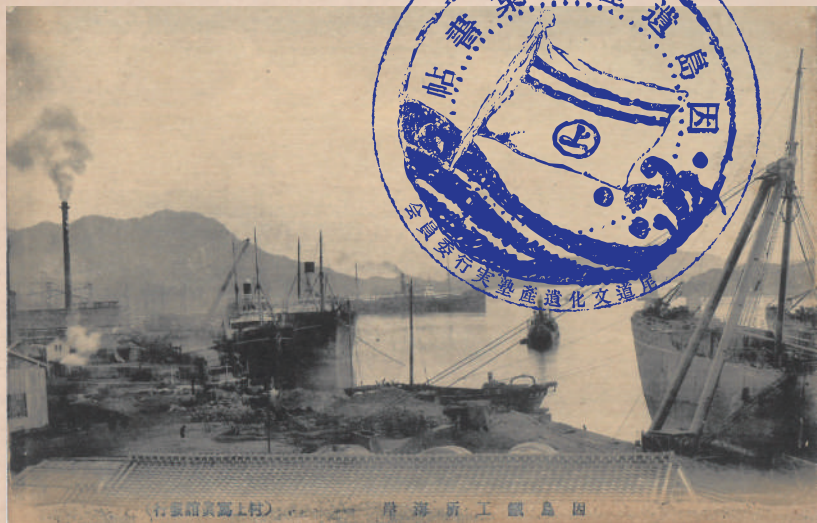




因島遺產繪葉書帖



旧因島市域

- 37 — 因島全域
- 38 — 因島広域
- 39 — 因島広域
- 40 — 大浜・重井

因島文化遺産上のカテゴリ分類



・・・風景遺産



・・・文化芸能遺産



・・・民俗遺産



・・・歴史遺産



・・・石造遺産

（旅行日誌原稿）

月 日 時 分 着

指定文化財ではないものの、守りたい・伝えたい文化

遺産（地域遺産）にスポットを当てる「尾道文化遺産

マップ」の第2弾は旧因島市域から。

「因島八景」など風景遺産の多さから、その昔に見た

名所絵葉書のスタイルを用いて、因島遺産を一枚ずつ

切り取り、絵葉書仕立てにご紹介してみます。

ここでピックアップされる因島遺産はほんの一部に

過ぎません。あなたの目に留まる因島遺産を、ぜひ

マイ絵葉書に切り取ってみてください。

大浜埼灯台より見たる

布刈瀬戸の眺望^{めかり}

戸瀬刈布ルタ見リヨ台灯埼濱大 巻ノ其 景八島因 巻 Heritage of Innoshima.

【大浜】

明治27（1894）年の設置になる大浜埼灯台の傍らに建つ特徴的な白い建物は^{めかり}布刈の瀬戸を往来する船舶に潮流を伝える信号所で、木造での現存が国内唯一の事例として選奨土木遺産、県指定重要文化財となっている。 ※令和6（2024）年5月に国の重要文化財に指定された。



02

大浜剛女砲台ごうめほうだい (お台場) 跡



【大浜】

幕末の黒船来襲に備える形で設置された砲台、通称・お台場の跡。対岸に位置する向島側の犬ぼう崎にも同様に砲台が設置され、交通の要地であった布刈瀬戸に睨みをきかせた。



久保田権四郎翁の故郷孝行より
久保田橋



【大浜】

農業・工作機械で知られる（株）クボタ創業者で、尾道市名誉市民の一人・久保田権四郎翁が、故郷の地に遺した故郷孝行の一つ。大浜と中庄を繋ぐ海岸道路、大浜小学校旧校舎等も権四郎翁の寄付になる。

参
故郷孝行
久保田橋

大浜海岸より八重子島を望む



ム望ヲ島子重八 汎ノ其 景八島因 四 Heritage of Innoshima.

【大浜】

大浜海岸の沖に浮かぶ八重子島では、同町の厳島神社、中庄町の熊箇原八幡神社くまがはらの祭礼で、島渡りの特殊神事が古くから伝承されており、神宿る又は降り立つ神秘なる島でもある。



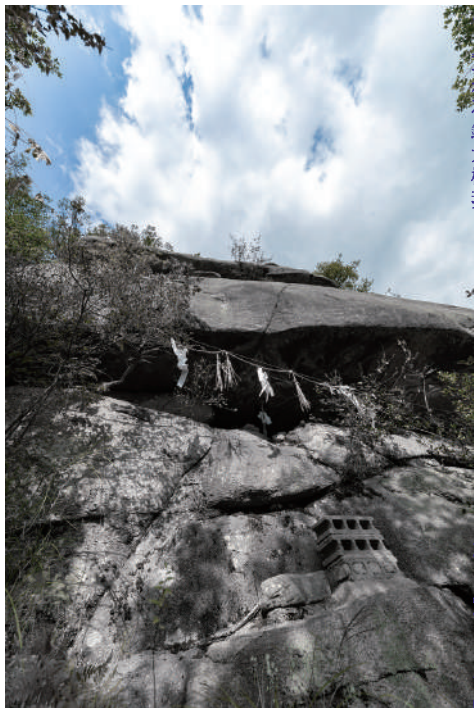
神秘なる「重ね岩」の奇巖きがん



【重井しげい】

正式には「重岩石鎚大権現かさねいしづるだいこんげん」と称し祀られる石鎚信仰のスポット。散在する大小の巨岩・奇岩は古代祭祀の磐座いわくらの痕跡を見るかのように、重ね岩はその最たるもの。傍にある石舞台状の岩上から望む眺めも絶景。

伍 重岩石鎚大権現



Heritage of Innoshima.

06

村上海賊に縁ある
ゆかり

重井八幡神社隨身門
ずいしん

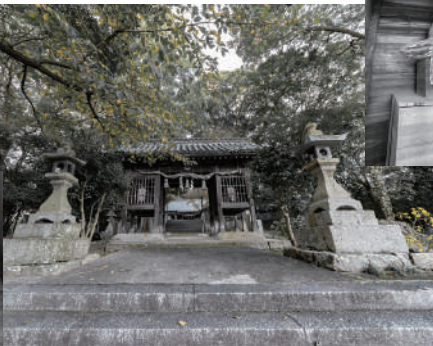


【重井】

因島村上氏の6代当主

村上新蔵人吉充が、
しんくらうじよしみつ

この地に青木城を築
いた際寄進したと伝
わる隨身像が安置さ
れる。



六重井八幡神社隨身門

【重井】

八幡神社拝殿入口を見上げれば、彩色鮮やかに映える奉納絵馬群が壮観に並び立つ。絵馬の一つには、加藤清正の朝鮮出兵とおぼしき図案も見られる他、変わった所では船の羅針盤ろしんばんもある。



七
奉納絵馬

因島八景 其三

しらたき

白滝山頂より見渡せるパノラマ

夕照



【重井】

江戸時代の終わり、

地元商人・柏原伝六

かしはらでんろく

の発起で切り開かれ

た大小無数の石仏群

が、庶民の祈りを大

きく描き出した島の

聖地。山頂から望ま

れる360度のパノ

ラマも、また格別な

ものがある。



白滝山頂ヨリ多島美

因島八景ノ参

八

Heritage of Innoshima.



因島八景 其四
 金蓮寺より眺め見たる因島水軍城



【中庄】
なかつしやう

中世の瀬戸内を駆けた村上海賊―その内の因島村上氏と同
 家臣達が眠る金蓮寺の境内から山の上を見上げれば、因島
 村上氏の歴史と資料を伝える水軍城が望まれる。

Heritage of Innoshima.
 城軍水島因 九



10

大蔦力蔵改メ朝日山四良衛門ノ塚
おおつたりきぞう あさひやましろうえもん

(成願寺境内)
じようがんじ



【中庄】



塚ノ門衛良四山日朝

拾

Heritage of Innoshima.

対岸向島の出身になる江戸時代の力士（最高位は小結^{こむすび}）で朝日山は引退後の改名。日頃はめっぼう強いのに、肝心の本場所になると意外な負け方をするというので大層親しまれた力士だったらしい。この塚は中庄出身になる弟子の大鳴大吉が、自らの菩提寺の内に建立したものである。

歴史ある宮相撲を伝える
くまがはら
熊箇原八幡神社相撲場



【中庄】

熊箇原八幡神社の秋
祭りで奉納される宮
相撲の歴史は江戸時
代に始まる。明治期
には大阪相撲の頭取
より中庄村に免許状
が与えられ、以来30
数代に亘る相撲頭取
も同地に受け継がれ
る。



12

縁結びと疫病除けのイワレを語る
えきびようよ
めおと
夫婦地蔵



【中庄】

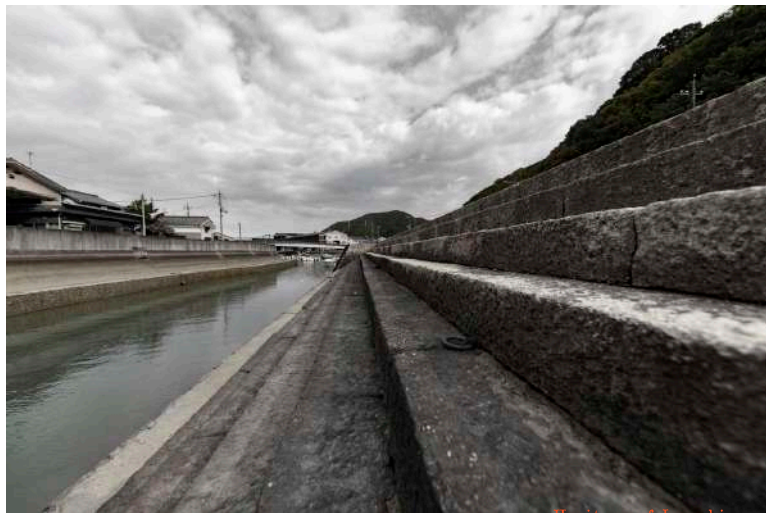
青影トンネルを抜けた先の西浦の道端に夫婦地蔵と呼ばれて仲睦まじく一つの石の内に刻まれる石地蔵がある。男女の悲しい昔話を秘める夫婦地蔵だが、縁結びと疫病除けに霊験ありと今も祈りが寄せられる。

拾式
御縁ト厄除ケ
夫婦地蔵



Heritage of Innoshima.

なかどて
中土手に遺る雁木のある風景



木雁ル遺ニ手土中 三拾

Heritage of Innoshima.



【中庄】

徳永区の入川に見られる雁木は、明治後期築造の往時の姿を留めるもの。かつては5ヶ所にまたがって設けられた雁木も台風被害から殆どがコンクリの防護壁へと姿を変えた。



14

碁聖本因坊秀策此処に眠る
ごせいほんいんぼうしゅうさくこのところ

（地藏院墓所）



【外浦】
とらふら

今に碁聖と囲碁史に
語り継がれる幕末の
天才棋士・本因坊秀
策（幼名・虎次郎）
が眠る墓所。秀策は
此処外浦に生まれ、
20歳で第14世本因坊
跡目となった。「耳
赤の一手」などの伝
説は今も囲碁ファン
を魅了する。



拾四
碁聖本因坊秀策
此処に眠る

15

石垣ノ路^{みち}



路ノ垣石 伍拾 Heritage of Innoshima.

【外浦】

秀策の故郷・外浦の
集落を歩くと、素朴
な造りが味わい深い
こうした石垣の続く
小道と出会う。



梶ノ鼻より因島大橋展望



橋大島因ム望リヨ鼻ノ梶

伍ノ其 景八島因

六拾

【鏡浦】

因島大橋を真横に望む展望スポット。周辺の海岸には、県の天然記念物に指定される花崗岩質岩脈なる自然界の威容を見ることができる。



因島八景 其六
 棕浦岬より地藏鼻展望



棕浦岬ヨリ望ム地藏鼻

因島八景 其六

七拾

【棕浦】
むくのうろ

棕浦の岬道（水軍スカイライン）から望まれる地藏鼻（三庄町）には、悲恋の伝説を秘めた地藏石がある。今日では子授けや安産、恋の成就など、女性の願いを叶えるパワースポットとして知られる。





18

棕浦廻船を偲ぶ

かいせん

こんびらだいこんげんじょうやとう
金毘羅大権現常夜燈

【棕浦】

今日では静寂に包まれたような棕浦の里ながら、江戸時代には因島随一、広島藩内でも有数の廻船基地であった。港に建つ立派な常夜燈も、そんな往時を静かに語りかけている。





Heritage of Innoshima.

群墓古ノ降以世中ム佇ニ傍路 九拾

【椋浦】

港から良神社の方へ進んで行く道すがら五輪塔と並び石囲みの古い墓がある。考古関係者が確認したところでは、近世墓に混じって中世戦国時代に遡る墓も含まれるという。



因島八景 其七

六松公園より見たる多島美
ろくまつ たとうび



美島多ルタ見リョ園公松六

拾次

【田熊】

昭和8(1933)年
地元の岡野六松が私
財を投じて整備する
も、完成には至って
いない公園である。
周辺には鬼の摩崖仏
などもあり、青影山
・奥山へのハイキン
グコースのふりだし
地点でもある。





21

八朔顯彰碑と田中清兵衛君之像
はつさくけんしょうひ
せいべえ

(密嚴浄土寺境内)
みつごん

【田熊】

田熊は八朔と安政柑
の発祥地になる。田中
清兵衛は旧田熊村の
村長として、柑橘の
島の興隆に尽力した
人物で、その功績が
こうして今に称えら
れている。



鯨を弔う鯨観音くじら とむら
 (對潮院境内)たいちょういん



【土生はぶ】

クジラを弔う為に建立された珍しい観音像。建立者は土生町の北畑定之助で、彼は紀州（和歌山）で鯨を獲る船の砲手はうしを務めていた。その慰霊の念が作らせた鯨観音様である。

弔拾弔

鯨観音



Heritage of Innoshima.



23

因島八景 其八

因島公園より望む芸予の海と島々

【土生】

眼下に造船所と土生の街並みが、更に海上には芸予の島々が大小に広がる。因島の代表的なるビューポイントである。



因島に秘めたる弘法大師伝説より
 鯖^{さば}大師



師大鯖 説傳師大法弘 四拾弍
 Heritage of Innoshima.

【土生】



その昔の昔、旅の僧
 がこの地の行商人に
 魚を求めた。しかし
 その身なりを見た魚
 売りはこれを断り、
 仕方なく僧は立ち去
 った。その後、魚売
 りは驚いた。桶に入
 った魚が皆腐ってい
 たからだ。懺悔^{ざんげ}の気
 持ちでその魚を海へ
 返すと、たちまちに
 生を得て泳いで行っ
 た。旅の僧は弘法大
 師であつたと語り伝
 える。

25

「つれしおの石ぶみ」より

吉井勇の碑



Heritage of Innoshima.

ミナトノオシレッ 伍拾式

【土生】

因島汽船社長の村井修氏の発起で整備された、この島の出身又はゆかりある著名人の詩歌名文を刻む散策路。吉井勇（劇作家・歌人）の碑辺りからの眺めもまた良い。



因島に秘めたる弘法大師伝説より

高野山杖の水

【土生】

弘法大師が杖を突き刺すと、そこに清水が湧き出たとの伝説は各地に聞かれるが、これもそうしたものの内の一つだろうか。大師水とも呼ばれて手を洗えば幸運にあやかれるとの事。



Heritage of Innoshima.

水ノ杖山野高 説傳師大法弘 六拾式



持上げて重し軽しの願ひ問ふ

(島四国第46番浄瑠璃寺)
じょうるりじ

【土生】

杖の水のすぐ上に、島四国第46番札所の小さなお堂が見える。ここには「お抱え地蔵様」なる石地蔵がおわし、願ひ事の良し悪しをお告げ下さるという。その方法は祈念後に地蔵様を持ち上げて見て、重く感じれば叶い難し、軽く感じれば叶い易しとのこと託宣。
たくせん



28

男装の女傑「麻生イト」の記憶

(土生商店街に遺るその旧居)



Heritage of Innoshima.

居魯トイ生麻・傑女ノ装男 八拾弐

【土生】

今東光の代表作『悪名』には実名で林芙美子の短編『小さい花』では「おりくさん」の名で登場する男装の女傑・麻生イト（1876～1956）の記憶を留める旧居。対岸の生名島にはイトが開いた庭園・公園「三秀園」もある。

珍しきかな猫神様

【土生】

箱崎地区の路地裏にあるお稲荷さんのお社前に、「猫神」と刻む小さな小さな石碑が建つ。明治13（1880）年の造立らしいが詳しい来歴は語られず。ネズミ駆除もさることながら、猫は天気を予知するという俗信もあり、漁港という土地柄、漁師による民俗信仰の一例になるのかもしれない。



Heritage of Innoshima.

マサ神猫 九拾弐

旧備後倶楽部入口の石門



門石の部樂俱後備舊

拾叁

Heritage of Innoshima.

【三庄】
みよし

アーチを描く石組みの門を持つ旧備後倶楽部は大阪鉄工所、後の日立造船の接待所として大正初年に設けられた高級料亭であった。戦後は日立の保養所、次いで観音山荘という民宿を経て、現在は歴史ある「びんご倶楽部」の名を冠した老人福祉施設として再生されている。





【三庄】

因島で最も高い山・
奥山の麓に位置する
観音寺からの風景も
また趣がある。観音
寺から奥山山頂にか
けては、西国三十三
観音を模した石仏巡
礼の道が続く。

因島に秘めたる弘法大師伝説より

「はりこ大師」（善徳寺境内）
ぜんとくじ



参拾貳

弘法大師傳説

ハリコ大師

【三庄】



Heritage of Innoshima.

我が身にお札を貼り
 付けば、その部分
 の病難を治そうとの
 夢のお告げを得て、
 弘法大師像にはびつし
 りとお札が貼り付けら
 れている。紙を貼り付
 けた張り子の如くから
 世に言う「はりこ」
 大師である。



芸予の島々に語り継ぐ芋代官

(正善寺境内)

【洲江】

江戸時代・享保の大飢饉にあつて、島嶼部の人々はサツマイモのお陰で命を繋いだ。そのサツマイモを島方へ伝播させた大三島の下見吉十郎と、石見銀山の代官だった井戸平左衛門の二人を命の恩人と称え、これを「芋地藏」や「芋観音」、「芋代官」等と呼んで各所に祀った。



Heritage of Innoshima.

参拾参
芋地藏・芋観音・芋代官



薬師寺の一四日国 参拾四

Heritage of Innoshima.

【原町】

50年に一度開帳される秘仏の薬師如来を本尊とする同寺には八十八ヶ所の仏を一日で巡拝できる「一日四国」の道がある（全長5kmの行程）。



薬師寺本堂格天井を彩りたる

ごうてんじょう

かちようふうげつ
花鳥風月



参拾伍

薬師寺本堂格天井 花鳥風月

【原町】



薬師寺本堂の天井は格天井で、その一つに花鳥風月の動植物が描かれる。どこか優しい気で柔らかな印象に映る天井画は、総じて女性の檀信徒によって寄進された事が、添えられる寄進者の銘板から分かる。





36

弁べん天てん小こ島じまの「おまんが穴」



【原町】

弁財天を祀る石祠がある事から弁天小島と呼ぶが、正式には「おおこじま」と呼ばれた。島には「おまんが穴」という洞窟があり、「おまん」という名の村の老婆と大蛸タコの伝説を語り継ぐ。潮が引くと洲が現れて、島へ歩いて渡る事ができる。
(年に数度。)



Heritage of Innoshima.

【因島全域】

四国から漁を終えて
 帰る尾道の漁師が、
 一人の旅の僧を因島
 大浜の地まで送り届
 けた。因島へ渡った
 僧は88人の僧に变じ
 これは弘法大師が来
 島されたものと信じ
 た。この縁起のもと
 に、因島全村がまと
 まって明治の末に整
 えたのが因島に見る
 島四国八十八ヶ所に
 なる。

※写真真は白滝山の第八十五番
 札所八栗寺。



Heritage of Innoshima.

リジンダ 禮祭ノ島 八拾参

【因島広域】

尾道に見る祭礼文化の諸相を地域別に色分けすると、本土側北部は鉦太鼓、尾道旧市街にあつては神輿、そして島嶼部のそれも因島にあつては「だんじり」の文化圏を形成しており島内各地に自慢の「だんじり」を見ることができる。

※写真は田熊のだんじり。

九拾参

島ノ船造

Heritage of Innoshima.



【因島広域】

水軍（海賊）の島は
また造船の島でもあ
る。明治以来今に連
綿と受け継がれる造
船業の歴史と伝統は
因島を代表する文化
（造船文化）の一つ
と云っていい。

40

島に咲き渡る除虫菊畑の景
じょちゅうぐきく



【大浜・重井】

蚊取り線香の原料となる除虫菊の栽培が島々で盛んだったのも今は昔の事。今日では観光用で親しまれ、4月の終わりがら5月の中頃にかけて、大浜と重井の畑（計4スポット）に咲き渡る。

※写真は重井西港を望む馬神除虫菊畑。

「因島遺産絵葉書帖」

表紙写真

大阪鉄工所因島工場の写真絵葉書

大正～昭和初期
(尾道市史編さん委員会事務局蔵)
※大阪鉄工所因島工場は、後の日立造船因島工場

協力

田頭 弘美

今井 豊

岡野 光伸

中岡 徹

三阪 達也

小林 哲也

一般社団法人因島観光協会

写真提供 (37・38・40)

一般社団法人因島観光協会

写真・編集・デザイン

西川 真理子 (尾道チャノマ図案室)

企画・制作・発行

尾道文化遺産塾実行委員会

事務局 尾道市企画財政部文化振興課

発行年月日 令和三(二〇二一)年 三月

文化庁「地域文化財(文化遺産)総合活用推進事業」助成



尾道文化遺産塾実行委員会製

Post Card



きかは便郵

